

令和5年(行ウ)第312号 伐採許可処分取消等請求事件

原告 大澤暁 外4名

被告 新宿区

令和6年(行ウ)第81号 伐採許可処分取消等請求事件

原告 青山真也 外68名

被告 新宿区

令和6年(行ウ)第86号 伐採許可処分取消等請求事件

原告 大澤暁 外5名

被告 新宿区

令和6年(行ウ)第447号 伐採許可処分取消等請求事件

原告 大澤暁 外28名

被告 新宿区

## 意見書

令和8年3月19日

東京地方裁判所 民事第51部2B係 御中

被告訴訟代理人弁護士 佐藤 雅彦



同 吉田 清悟



被告指定代理人 竹内 英央



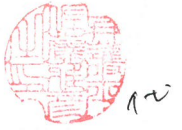
同 黒田 由香



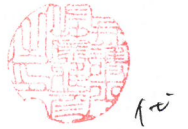
同 宮 本 吉 紀



同 安 川 正 紀



同 矢 島 哲 夫



原告準備書面(10)、3、①～④に対して、以下のとおり補足して意見を述べる。

第1 原告準備書面(10)、3、①第二球場からの移植樹木について

樹冠投影面積について、移植樹木のうち建国記念文庫からの移植のみ算入し、第二球場からの移植は算入していない。(資料1)

第2 原告準備書面(10)、3、②地区計画で緑道となっている場所における樹木について

都市計画運用指針では、「緑道については、快適安全な通行、散策、休養等に資する園路及び十分な植栽による修景、パーゴラ等の施設が確保できる幅員及び延長を定める。」と規定されている(資料2)。本計画の緑道はこの規定に即して2.4mの歩行空間と5.5m程度の植栽が設けられており(資料3)、樹冠投影面積の算入に誤りはない。

第3 原告準備書面(10)、3、③建築物北側の樹木について

「新宿区における東京都風致地区条例に基づく許可の審査等に関する基準」における樹冠投影面積の算出に、生育環境は要件としていない。

(なお、令和6年度「東京都環境影響評価審議会」第7回総会の資料において、事業者より、「ラグビー場棟による神宮外苑広場(建国記念文庫)の樹木については、

ラグビー場棟Ⅰ期工事の完了後 5 年間、既存樹木の活力度調査を実施し、その状況に応じた順応的管理を継続し、将来にわたって緑地環境の保全を図る計画です。」との考えが示されている（資料 4）。)

#### 第 4 原告準備書面(10)、3、④建築物と高木との競合について

本建築物の断面形状は段々状であり、最高高さは 46m であるものの、当該部分の高さは 14.2m であり、当該高木の樹冠と建築物は干渉していないため、樹冠投影面積に算入することは問題ない（資料 5）。

以 上

保存 ● 92本

| 樹名・番号  | 樹形     | 樹高 (m) |
|--------|--------|--------|
| Y01-44 | シノノキ   | 11.0   |
| Y01-45 | 4ヤスナグ  | 3.5    |
| Y01-47 | シノノキ   | 8.0    |
| Y01-48 | シノノキ   | 11.0   |
| Y01-51 | ヤマキ    | 20.0   |
| Y01-52 | シノノキ   | 11.0   |
| Y01-53 | 4ヤスウ   | 17.0   |
| YG-1   | シノノキ   | 13.5   |
| YG-2   | シノノキ   | 13.5   |
| YG-3   | シノノキ   | 13.5   |
| YG-4   | モロコク   | 5.5    |
| YG-5   | シノノキ   | 11.0   |
| YG-6   | シノノキ   | 12.5   |
| YG-7   | ヒトツバタゴ | 6.0    |
| YG-8   | ツバキ    | 3.0    |
| YG-9   | シノノキ   | 9.0    |
| YG-11  | クヌシ    | 17.0   |
| KE-21  | トウカエデ  | 16.0   |
| KE-43  | ヤマカツラ  | 10.0   |
| KE-44  | トウカエデ  | 18.0   |
| KE-45  | シラカシ   | 14.0   |
| KE-46  | シノノキ   | 11.0   |
| KE-47  | シノノキ   | 12.0   |
| KE-49  | ヤマキ    | 21.0   |
| KE-51  | シノノキ   | 20.0   |
| KE-52  | シラカシ   | 14.5   |
| KE-53  | ツバキ    | 6.0    |
| KE-54  | シノノキ   | 16.0   |
| KE-55  | ツバキ    | 6.0    |
| KE-56  | ツバキ    | 22.0   |
| KE-57  | ムクノキ   | 21.0   |
| KE-58  | ヤマキ    | 20.5   |
| KE-59  | シノノキ   | 11.0   |
| KE-60  | シノノキ   | 22.0   |
| KE-61  | コブシ    | 3.0    |
| KE-62  | ヤマキ    | 19.0   |
| KE-63  | スズナギサ  | 4.5    |
| KE-65  | クヌシ    | 19.0   |
| KE-66  | ヤマカツラ  | 11.0   |
| KE-68  | シラカシ   | 6.0    |
| KE-69  | シラカシ   | 1.8    |
| KE-70  | シラカシ   | 3.0    |
| KE-71  | ヒトツバタゴ | 4.0    |
| KE-72  | ツバキ    | 21.0   |
| KE-73  | ツバキ    | 21.0   |

17本

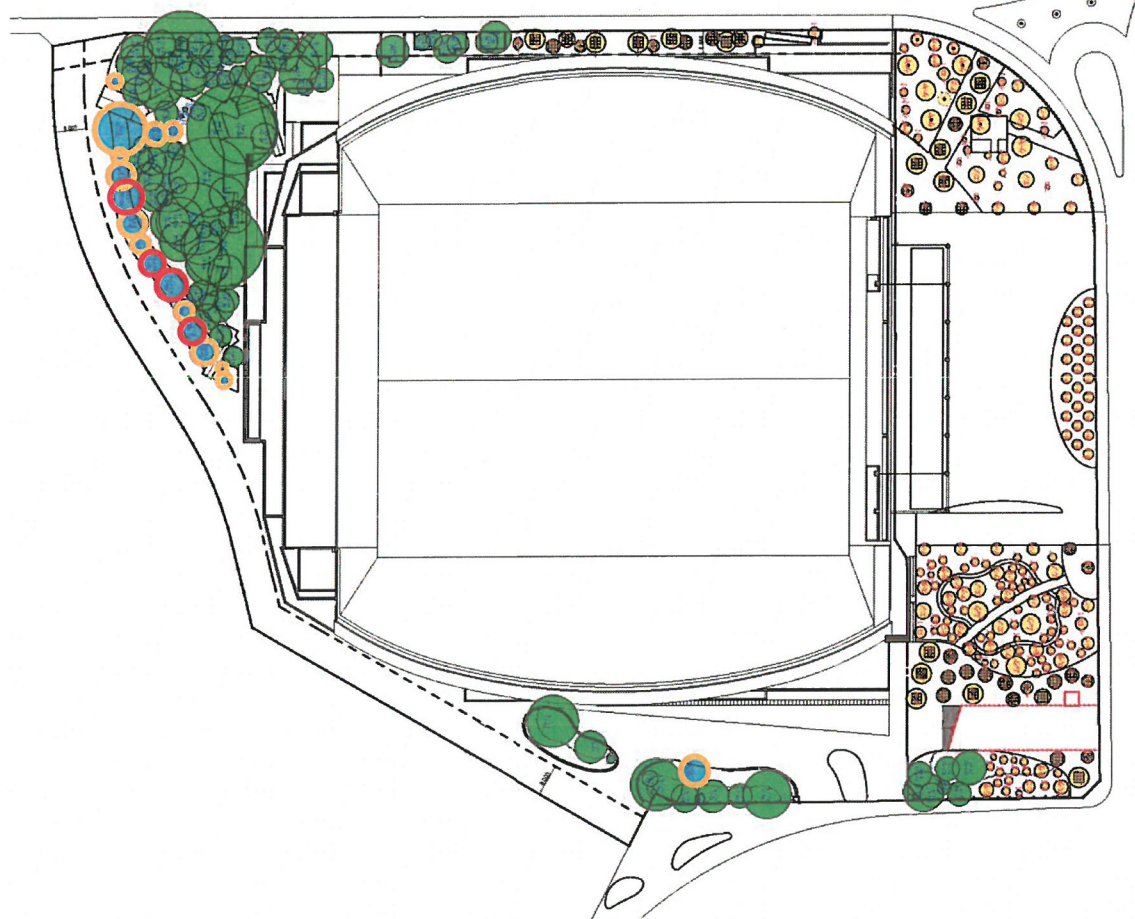
| 樹名番号   | 樹種     | 樹高 (m) |
|--------|--------|--------|
| YG-15  | ツバキ    | 2.7    |
| YG-19  | ヒトツバキゴ | 10.0   |
| YG-20  | マツバシイ  | 7.5    |
| YG-31  | マツバシイ  | 10.0   |
| YG-47  | マツバシイ  | 8.5    |
| YG-53  | シイノキ   | 8.0    |
| YG-59  | シイノキ   | 6.5    |
| YG-61  | ケヤキ    | 11.5   |
| YG-66  | マツバシイ  | 8.0    |
| YG-72  | マツバシイ  | 6.5    |
| YG-102 | サンゴジュ  | 4.0    |
| YG-108 | アブナ    | 10.0   |
| YG-118 | ケヤキ    | 12.5   |
| KE-2   | ヤエザクラ  | 10.0   |
| KE-3   | ヤエザクラ  | 10.5   |
| KE-156 | モミジ    | 7.0    |
| KE-157 | シラカシ   | 15.0   |

## 第二球場からの移植

建国記念文庫  
からの移植

新植● 212本

|      |        |      |
|------|--------|------|
| アカ   | アカンデ   | 8.0  |
| モチ   | モチノキ   | 8.0  |
| スダ   | スダシイ   | 8.0  |
| モコ   | モッコク   | 7.0  |
| シロ   | シロガモ   | 7.0  |
| オガ   | オガタマノキ | 7.0  |
| スズ   | スズミギク  | 5.0  |
| ツバ   | ツバノハナ  | 5.0  |
| ケヤ   | ケヤナシ   | 4.0  |
| ムク   | ムクノキ   | 10.0 |
| イチ   | イチヨウ   | 10.0 |
| エノ   | エノキ    | 9.0  |
| クス   | クスギ    | 8.0  |
| イロ-1 | イロハモシ  | 7.0  |
| イロ-2 | イロハモシ  | 4.5  |
| ヤザ   | ヤマガタ   | 7.0  |
| トウ   | トウカシ   | 7.0  |
| エゴ   | エゴノキ   | 7.0  |
| サト   | サトザクラ  | 5.0  |
| コナ   | コナラ    | 5.0  |
| スズ   | スズキ    | 5.0  |
| ノム   | ノムラモシ  | 4.0  |
| マユ   | マユミ    | 3.0  |
| ロウ   | ロウバイ   | 3.0  |



# 第 1 3 版 都市計画運用指針

令和 7 年 3 月

国土交通省

- i 街区公園 誘致距離 250m を標準とする。
- ii 近隣公園 誘致距離 500m を標準とする。
- iii 地区公園 誘致距離 1km を標準とする。
- iv 総合公園 原則として、一の市町村の区域を対象として、住民が容易に利用できる位置に配置する。
- v 運動公園 原則として、一の市町村の区域を対象として、住民が容易に利用できる位置に配置する。
- vi 広域公園 一の市町村の区域を超える広域の圏域を対象として、交通の利便の良い土地に配置する。
- vii 特殊公園
  - ア) 風致公園 樹林地、湖沼海浜等の良好な自然的環境を形成する土地を選定して配置する。
  - イ) 動物公園、植物公園、歴史公園  
動物公園、植物公園にあつては、気象、地形、植生等の自然的条件が当該公園の立地に適した土地を選定して配置する。歴史公園にあつては、遺跡、庭園、建築物等の文化的遺産の存する土地若しくはその復元、展示等に適した土地又は歴史的意義を有する土地を選択して配置する。

## (2) 緑地

緑地とは、主として自然的環境を有し、環境の保全、公害の緩和、災害の防止、景観の向上、及び緑道の用に供することを目的とする公共空地である。

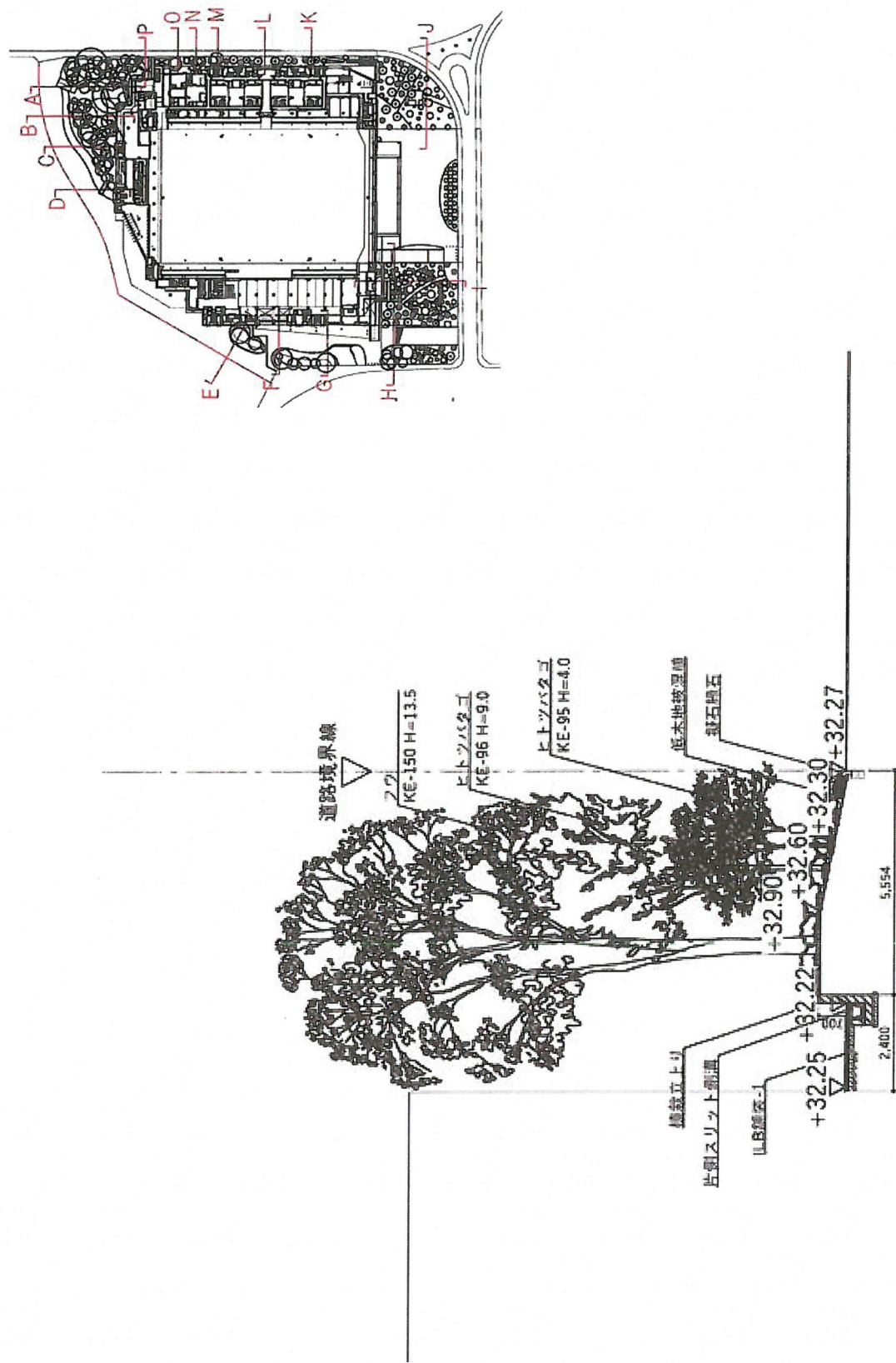
### ① 規模

緑地の規模は、次の事項を考慮して計画することが望ましい。

- ア 主として都市景観の向上に資する緑地は、位置、目的、内容及び周辺の土地利用等の現況及び計画を総合的に勘案して適切な規模を定める。
- イ 現に存する樹林地等の保全を目的とする緑地は、その規模、特性等を総合的に勘案して適切な規模を定める。
- ウ 主として緩衝の用に供する緑地は、公害の緩和、災害の防止等の目的に応じ周辺の土地利用、交通状況、都市施設の配置等を総合的に勘案して必要な規模を定める。
- エ 主として遮断の用に供する緑地は、隣接する市街地の規模、性格及び市街地化の動向等を総合的に勘案して適切な規模を定める。
- オ 河川の区域を対象とする緑地は、河川の位置、規模、形状、隣接する土地の状況及びレクリエーション需要等を総合的に勘案して適切な規模を定める。
- カ 緑道については、快適安全な通行、散策、休養等に資する園路及び十分な植栽による修景、パーゴラ等の施設が確保できる幅員及び延長を定める。

### ② 配置

N断面図



## 令和 6 年度「東京都環境影響評価審議会」第 7 回総会

日時：令和 6 年 10 月 21 日（月）午後 1 時 30 分～  
形式：対面及びオンラインの併用方式

### —— 会 議 次 第 ——

#### 議 事

##### 1 答申

「(仮称) 府中朝日町商業施設計画」環境影響評価調査計画書  
「G L P 昭島プロジェクト」環境影響評価書案

##### 2 諮問

「世田谷清掃工場建替事業」環境影響評価書案

##### 3 受理報告

「東京都市計画道路放射第 35 号線(練馬区早宮～北町間)建設事業」事後調査報告書（工事の施行中その 3）  
「(仮称) 神宮外苑地区市街地再開発事業」事後調査報告書（工事の施行中その 2）  
「赤羽台団地建替事業」変更届  
「東武鉄道東上本線（大山駅付近）連続立体交差事業」変更届  
「西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）連続立体交差事業」変更届  
「(仮称) 神宮外苑地区市街地再開発事業」変更届

#### 【審議資料】

資料 1 「(仮称) 府中朝日町商業施設計画」環境影響評価調査計画書について

資料 2 「G L P 昭島プロジェクト」環境影響評価書案について

資料 3 「世田谷清掃工場建替事業」環境影響評価書案について

資料 4 受理報告

<出席者>

|    |       |      |
|----|-------|------|
| 委員 | 会長    | 柳委員  |
|    | 第一部会長 | 奥委員  |
|    | 第二部会長 | 宮越委員 |
|    | 荒井委員  | 速水委員 |
|    | 飯泉委員  | 廣江委員 |
|    | 日下委員  | 水本委員 |
|    | 玄委員   | 宗方委員 |
|    | 高橋委員  | 保高委員 |
|    | 堤委員   | 横田委員 |
|    | 羽染委員  | 渡邊委員 |

(17 名)

事務局 長谷川政策調整担当部長  
藤間アセスメント担当課長  
石井アセスメント担当課長

■変更届

(1) 事業名：(仮称)神宮外苑地区市街地再開発事業

変更内容：事業計画

代表する事業者名：三井不動産株式会社

| 項目     | 助言事項    |                                                                                                                                                                         | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生物・生態系 | 1<br>横田 | ラグビー場棟南側はインフラ管が埋設されているとのことですが、どのような根拠でラグビー場棟の平面的配置を決められたのか、(南側の植栽地よりも北側の建国記念文庫の既存樹林を優先する配置はなぜできないのか、) 不明瞭ですので、具体的にさせて頂きたく思います。                                          | ラグビー場棟の建設は、競技開催の継続性に鑑み、神宮球場を供用したまま、Ⅰ期敷地で競技に支障が出ないように、ラグビー場としての機能を充足して建設する計画です(変更届 p. 24 記載)。従って、ラグビー場棟南側に埋設されているインフラ管は、神宮球場の供用には必要な設備であることから、Ⅰ期工事と共に撤去できないため、Ⅰ期工事は当インフラ管に支障がない範囲にて行わざるを得ず、これを踏まえてラグビー場棟の平面的配置を計画しております。なお、南側の植栽地はⅡ期工事にて整備する計画としております。                                                                                   |
| 生物・生態系 | 2<br>横田 | 事後調査報告その2 (p. 34～) では、移植計画が変更となり、本移植の割合が増大していますので、変更届において移植計画の変更についても触れ、それとの関係を明らかにさせて頂きたく思います。本移植先の環境の調査・予測・評価、本移植先での活着可能性を踏まえた移植の個別判断の評価についても、見直しをする必要があるのではないのでしょうか。 | 移植計画については、事後調査計画書において事後調査報告書で報告することとしていたため、変更内容についても事後調査報告書(工事の施行中その2)に記載させて頂きました。<br>移植計画を変更したことにより、評価書の予測における存置、移植、伐採本数に変更が生じるため、変更届 p. 44、45、48 においてその本数を記載いたしました。<br>また、移植先の環境については、主に移植先に既に生育している樹種を移植することにより、移植先の現在の環境を維持することとしています。また、本移植による移植先の遷移の状況について、神宮外苑広場(建国記念文庫)においてラグビー場棟Ⅰ期工事の完了後に実施することとしていた植物群落調査を、本移植後に実施してまいります。また、 |

|    |         |                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |         |                                                                                       | <p>絵画館前広場など計画地外の本移植先についても、植物群落調査を行い遷移の状況を確認することを検討いたします。</p> <p>移植後の活着可能性について、移植対象樹木に対しては根回しを適切に行なっており、2023年の毎木調査結果においても移植可能であると確認された樹木を移植する計画です。また移植先についてもこれまでの図書に記載している植栽基盤の整備や、移植後の管理も含め、活着に対しては最大限の対策を行った上で、移植木については移植後の活力度調査も実施してまいります。</p>                   |
| 日影 | 1<br>飯泉 | <p>ラグビー場棟の配置および仕様の変更により日影範囲は縮小しますが、建国記念文庫は冬至日を中心に長時間の日影となることから、樹木への十分なご配慮をお願いします。</p> | <p>日影の影響については、植物の生育状況や植生環境の変化に合わせた順応的管理を行うことで、長いスパンで樹木の維持を図ります。</p> <p><b>ラグビー場棟による神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木については、ラグビー場棟Ⅰ期工事の完了後5年間、既存樹木の活力度調査を実施し、その状況に応じた順応的管理を継続し、将来にわたって緑地環境の保全を図る計画です。</b></p>                                                                        |
| 景観 | 1<br>宗方 | <p>ラグビー場の圧迫感を一層低減させるべく、ファサードデザイン（形状や素材、壁面緑化等）と色彩を丁寧にご検討ください。</p>                      | <p>都市計画上設計可能な最高高さよりも低く、更に従前案 55m と比べて約 48m に抑える計画とします。また、隣接の国立競技場と絵画館と軒高を同程度とし、さらに上部を傾斜屋根とし全体の圧迫感を抑制します。</p> <p>建物の北東角を後退させ、更に北側を階段状とするとともに、東側及び西側上部の壁面を建物側に傾斜させることで、圧迫感に配慮した建物形状とします。</p> <p>ラグビー場低層部の壁面を凹凸の形状で分節することや、ラグビー場の周りに存置もしくは移植する既存樹木や新植する樹木を配し、緑に囲ま</p> |

|    |         |                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |         |                                                                                                                                                                                                                         | <p>れたラグビー場とすることで、目線レベルの圧迫感に配慮します。</p> <p>低層部のエントランスに建物内外を一体的につなげるガラスを使用することで、大壁にならないよう目線レベルの圧迫感に配慮した計画とします。また、エントランスゲートには木を使用した庇を計画し、隣接国立競技場と協調したデザインとします。</p> <p>「東京都景観色彩ガイドライン」及び「新宿区景観形成ガイドライン」に適合した色彩計画とします。エントランス周辺は樹木と協調したグリーンカラーをアクセントカラーとして導入します。</p> <p>具体的な検討状況については別紙2をご確認いただければと思いますが、今後関係各所との協議を実施予定のため、別紙2の内容から変更となる可能性があることはご了承ください。</p>             |
| 景観 | 2<br>横田 | <p>ラグビー場高さについて、国立競技場の軒高と同等とのことですが、周囲のスペースが非常に限定的で、樹木にとってはより厳しい状況にあります。特に東側では樹木と歩行者での空間の取り合いも生じています。伐採樹木の本数減だけを目的とするのではなく、消費する空間や生態系への影響の評価に基づく配慮が必要です。ラグビー場棟の配置・構造の変更が、どのように空間や生態系のつながりへの影響を改善しているのかを具体的に示して頂きたいです。</p> | <p>空間への影響については、ラグビー場棟の高さを低くすることや、建物の東側及び西側の上部の壁面を建物側に傾斜させることで、日影の範囲の低減や圧迫感に配慮するとともに、神宮外苑広場（建国記念文庫）の樹木の生育環境を評価書時よりも良化する計画としています。</p> <p>ラグビー場棟敷地周囲のうち、北側部分については幅員8mの歩行者のみが利用する緑道を整備する計画であり、国立競技場の8m緑道と融合するものとして整備します。また、東側部分については、環境影響評価書時と同様に幅員6mの緑道を整備する計画であり、ラグビー場棟の外形線は東側に膨らんでおりません。また、変更届 p. 43 の図に示すとおり、樹木の一部を存置し、更に周辺樹木とも呼応する単調とならない新植樹木の配置とすることで、生態系のつなが</p> |

|    |         |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |         |                                                                                                                                                                                                                                            | りに配慮した神宮外苑地区を南北に貫くみどりの散策路の一部として計画します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 景観 | 3<br>横田 | <p>工事中の自然との触れ合い活動について、特にラグビー場棟東側では十分な歩行空間の幅員確保ができない状況にあり、歩行者が直接的に大気汚染物質や騒音等の影響を受けやすい環境になるのではないのでしょうか。</p> <p>「予測条件である施工計画及び緑地の保全状況に変更はないため、予測の見直しは行わない」とありますが、緩衝帯を十分に設けられないことによる影響が変更届により確定的になるのであれば、追加的な保全措置について検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> | <p>計画地内の東側部分については、環境影響評価書時と同様に幅員 6m の緑道を整備する計画であり、ラグビー場棟の外形線は東側に膨らんでおりません。また、計画地東側の歩道については工事中においても歩行者動線を確保する計画としておりますので、自然との触れ合い活動の場への利用経路については著しい影響を及ぼさないものと考えております。これについては、工事用車両の出入口に交通整理員を配置することにより、歩道を利用する一般の歩行者の円滑な通行を確保するとともに、工事により通行できなくなる場合は迂回路を設置し、歩行者の通行に支障がないよう配慮する計画です。</p> <p>ラグビー場棟については工事工程が変更となるものの、仮囲いの位置やピーク時の建設機械台数、工事用車両台数に変更はないため、大気汚染及び騒音・振動の予測結果に変更はなく、環境基準等を満足すると予測しています。しかしながら、ご助言のとおり歩行者への影響に配慮し、建設機械の不必要なアイドリングの防止や工事用車両の走行ルートの限定、安全走行等により、大気汚染や騒音・振動の影響の低減に努めてまいります。</p> |

C断面図

